

拝啓 中3のあなたへ

はじめよう! 高校生になるために

勉強はショージキ嫌だし、
成績も悪いけど、
やっぱり高校には
行きたいんだけどなあ…。

面談で、「このままじゃ行ける高校はない」って
先生に言われちゃった…。

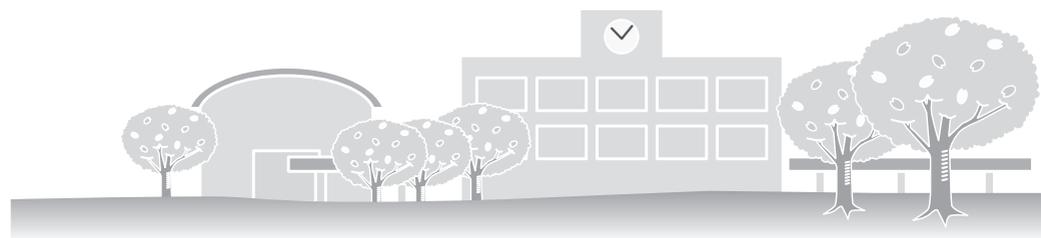
このまま中学を卒業したら、
自分、どうしてるだろう…。

中学校は不登校だけど、
そんな自分でも
高校って行けるのかな…。

家のこと考えると、
高校の学費が心配…。



そんな、へこみがちな中3のあなたの「高校に行きたい!」を応援するガイドです!



きょう子せんぱいの高校進学に向けたスケジュール

ここでは、高校等のイベント、中学校のスケジュールとあわせて、きょう子せんぱいの「進路選択のスケジュール」や「つぶやき」を紹介します。

きょう子せんぱいは、都立高校で高校生活をエンジョイしている高校1年生です。「あまり勉強が得意でない…」と高校進学をあきらめそうになったこともあったけれど、高校の文化祭などに行って一生懸命な先輩たちの姿を見て、高校に進学したいという気持ちになりました。

	4～5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月～
高校等のイベント		← (6月～12月上旬) 学校説明会			← (9月～11月上旬) 文化祭				都立推薦入試	都立一般一次前期入試	都立二次後期入試	
					← (～12月) 模擬試験を受けよう				私立推薦入試	都内私立一般入試	都立定時制二次入試	
						← (10～11月) 都立高校合同説明会						
中学校のスケジュール	5月中旬 中間テスト (※ない学校もあります)	下旬 期末テスト	三者面談			中間テスト	期末テスト	面接練習				
					個人面談		三者面談	(10月～12月) 受験校を決定		学年末テスト	卒業	
きょう子せんぱいの進路選択	<p>3年の1～2学期の成績が高校に提出する調査書に大きく影響するので、1学期は少し不十分だった方も2学期はがんばらなくちゃと思った。友達や先生に聞きまくり、これまでになく勉強した。</p> <p>●みんなが受験を意識しはじめた。私も、高校生の先輩とばったり会い「今からがんばれば、大丈夫」とはげまされ、「高校に行ってみよう」という気持ちに少しなる。</p> <p>6月中旬 ● 漢字検定3級や英語検定3級を持っていると、高校に提出する調査書や受験に有利になると聞いて、受験。</p> <p>👉 英語は苦手だから、漢字検定3級の方だけ受験することにした。 5月の受験申込みにぎりぎり間に合ったけれど、テストは思ったより難しく、不合格 😞</p>			<p>● 6月～● 学校説明会に参加。</p> <p>親も私も、学校説明会に行ってみて、高校のイメージができた。志望校を決める参考にもなったし、高校によっては、入試情報を教えてくれたところもあった。</p> <p>7月 ● 模擬試験を受ける。</p> <p>模擬試験、4～5千円は高いと思ったけれど、受けてみて、自分の実力がわかった。緊張したけれど、受験の練習になった。</p> <p>8月 ● 貸付制度を使って、塾の夏期講習を受講。</p> <p>👉 塾代の貸付制度があると知って、夏期講習を受講した。(※高校に入学したら返済免除。詳細p.21)</p>	<p>● 中間テストと期末テストをがんばる。</p> <p>9月 ● 模擬試験[2回目]を受験</p> <p>夏休み前と夏休み後に、模擬試験を受けて、実力が上がっているのがわかり、自信になった 😊 👉 2回受けられなくても、1度でも模試を受けて、受験の練習をしたほうがいいんだって。</p> <p>10月 ● 漢字検定3級に、もう一度チャレンジ。</p> <p>漢字検定3級に、なんと合格 😊</p> <p>10月 ● 「都立高校合同説明会」に参加。色んな学校をいっぱい知れた。</p> <p>都立高校合同説明会でふんいきがよさそうだった学校の文化祭に行ってみる。</p>	<p>● 高校の文化祭に行った。</p> <p>● 三者面談。</p> <p>先生から都立1校だけでなく私立も受験したほうがよいと言われた。</p> <p>三者面談で、先生から「今のままじゃ志望校に行けない」と言われて、おちこむ 😞。</p> <p>12月 ● 受験校を決めた。ようやく、高校に行きたいという気持ちがはっきりする。</p> <p>自己PRカードを書くのが、大変 😞 自分だけでは書けなかったから、色んな人に相談して、なんとかあげた。</p> <p>12月 ● 自己PRカードを作成。 12月 ● 中学校で、面接練習。</p>	<p>● 受験料の貸付制度を使って、都立1校と私立1校を受験。</p> <p>受験料の貸付制度(※高校に入学したら返済免除。詳細p.21)があると知って、私立高校も受験した。</p> <p>都立高校の一次で不合格だった友人もいたけれど、都立二次、通信制高校や定時制高校の三次募集などで、クラスみんなが合格 😊 中学の先生がいろいろ相談にのってくれたらしい。</p> <p>面接資料として『自己PRカード』を書きイザ校長室へ。 日頃見慣れた校長先生との「面接練習」だったけど、ちょー緊張した。ドアの開け方、閉め方なども注意された。</p>	<p>試験の結果が悪くてへこんだりして、高校へ行けないんじゃないかって不安だったけれど、最後まであきらめないで、本当に良かった。 高校は自分が尊重されてるって感じ。自分で授業を選択したり自分次第で高校生活を作っていけるんだ。みんなもあきらめないで！高校で待ってるよ。</p>				



拝啓 中3のあなたへ

はじめよう!
高校生になるために

私だって
同じだったよ



～先輩からの
メッセージ
▶p.4



このまま中学を卒業したら、
自分、どうしてるんだろう…

高校になじめなくて、
チャレンジ・スクールに入り直し、
将来の夢ができました ▶p.6

高校に進学したことで、
大学で学びたいという気持ちに ▶p.10

『高校を卒業しないで
就職するのは大変』▶p.4 ▶p.12

面談で「このままじゃ
行ける学校はない」って
先生に言われちゃった

—1次x、2次x…3月末の定時
制2次試験でやっと合格▶p.12

『受験をあきらめないで』▶p.8

『遅れはとりもどせる!』▶p.12

家のことを考えると
高校の学費が心配

奨学金を利用して
夢だった看護師に!▶p.4

『バイトすれば、家にもお金が
入れられる』▶p.4 ▶p.12

『奨学金を借りて
働きながら大学へ』▶p.10

中学校は不登校だけど、
そんな自分でも高校って
行けるのかな…

中学は不登校だったけれど
高校で自信がつかました▶p.8

『高校はみんなオトナ。
いじめとかない』▶p.12

勉強はショージキ
きらいだし、
成績も悪いけど、
やっぱり高校には行きたいな。

『中学の成績はほぼオール1。
でも高校で勉強が楽しかった』▶p.8

『ものづくり中心や、就職に有利な資格を
取れる高校もある』▶p.6 ▶p.12

はじめに

「中学を卒業したら、自分はどうしてるんだろう」「家のことを考えると学費が心配」「不登校だったけれど、高校って行けるのかな」「勉強は嫌いだし、成績も悪いけれど、高校には行きたいなあ」

中3の時期は、いろいろな不安や迷いが出てきますね。

このガイドは、そんな中3のあなたを応援するためのものです。

各ページでは、あなたと同じような気持ちを持っていた先輩たちの“リアルな体験”や、「高校に行きたい!」を応援する情報・制度を紹介しています。

さあ、高校生になるために!先輩たちの応援のつまったこのガイドを開いてみてください。

東京都社会福祉協議会 高校進学のための情報支援構築プロジェクト

委員長 湯澤直美

目次

- **これからの選択肢**
 - いろいろな高校の種類 ～行きたい学校を見つけよう! p.14
 - きょう子せんぱいの高校進学に向けたスケジュール p.1
- **高校に行きたいを応援する制度**
 - 電話であなたの話を聞いてくれる窓口 p.16
 - 高校進学相談窓口 p.17
- **奨学金や教育費の助成のご紹介**
 - ～中学生とその保護者の方へ～
 - p.18

この冊子は東京都社会福祉協議会ホームページから
ダウンロードできます!!

<http://www.tcsw.tvac.or.jp/>



奨学金を利用して夢だった看護師に!



奨学金を返していくのは
けっこう大変。
でも、夢を実現した
達成感はある。

25歳・女性

中学 ▶ 都立高校 ▶ 専門学校(准看護師) ▶ 専門学校(正看護師) ▶ 総合病院で2年勤務
▶ 結婚し現在は退職



夢だった看護師に!

知り合いのお見舞いで病院に行ったことがきっかけで、小4の頃から「看護師になりたい!」と思っていました。実際になってみたら過酷な仕事です。夢のままのほうがよかったかなって思うこともあります(笑)。

でも、患者さんに感謝されたり、元気になって退院していく姿を見るのは嬉しいし、病氣と闘っている患者さんと接していると、自分も頑張らなければと逆に元気をもらったり、励まされることもたくさんあります。進路を決めるときには考えていなかったけど、「資格」の大切さを今は実感しています。不景気でも仕事があるのは、看護師になってよかったことの一つかな。



高校時代が一番楽しかった!

中学生の頃から、高校にはいくものだと思っていました。塾は行かなかったけれど、知り合いに勉強をみてもらっていました。確実に入れる高校を考えて希望校を決め受験し、第一志望の都立高校にぶじ合格できました。併願で私立も1校受けました。都立高校は自由で、友達と遊びに行く範囲も広がりました。アルバイトも可能だったので、月に6~7万円くらい稼いで、半分位は家に入れていました。高校時代が一番楽しかったな。



アルバイトをしながら専門学校への進学

高校3年の夏休み明けから猛勉強し、准看護師の学校に進学しました。卒業後は准看護師として働きながら正看護師の学校に進みました。専門学校には奨学金を利用して進学しました。私の小さいころからの夢をお母さんも知っていたので、進学することを賛成し応援してくれました。奨学金の手続きは、福祉のケースワーカーさんに相談しながらお母さんが進めてくれました。

家庭の事情で生活保護を受けていた時期もありますが、高校時代から学校の授業とアルバイトを両立し、奨学金もあったので、なんとか困ることなく学生生活を送れました。専門学校では、看護師の実習が大変な時など、両立が大変だったこともあったけれど、仲間とぐちったりしてのりこえられました。看護師になったときには、お母さんもすごく喜んでくれました。



返し終わってスッキリ! 複数の奨学金を利用

看護師になるまでに3つの奨学金を利用しました。今は、2つの奨学金を毎月4万円くらいずつ返しています。覚悟はしていたけど、奨学金を返していくことはけっこう大変です。でも、今年の9月に1つ返し終わるので、だいぶ楽になるかな。

正看護師の学校にいた時に病院から借りた奨学金は、卒業後2年間看護師として働けば、返済が免除になるものでした。約束どおり2年間働いて今年の3月で無事免除されました。気持ちがスッキリしました。



やっぱり高校は出ておいたほうが良いと思います。友達も増えるし、将来やりたいことを見つけたり、卒業後の仕事の幅も広がると思いますよ。

利用した奨学金 東京都母子福祉資金、女性福祉資金、病院独自の奨学金

高校になじめなくて、チャレンジ・スクールに入り直し、将来の夢ができました



自分から何かするっ ていうのが大切!

18歳・男性 チャレンジ・スクール4年生

都立高校(全日・普通科) ◯ 中退 ◯ チャレンジ・スクール
◯ ゲームプランナーになるために専門学校進学を目指す



高校を中退してチャレンジ・スクールに

中学生の時は、学校には行ってはいたけれど、勉強は苦手でした。行きたい高校も特になかったけれど、将来の就職のことを考えたら、高校行かないとまずいかなと思ってました。

受験を決めたのが遅かったから、受験は、全日制の都立高校を1校だけ受けました。勉強は、小学校の頃に入っていた施設で勉強会があって、そこで見てもらっていました。

でも、高校は1年生の夏明けに通わなくなりました。友達もできないし、なじめなくて…。学校に行くのもイヤで、そのまま、母に、退学の手続きをしてもらいました。

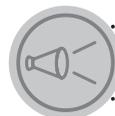
高卒認定を受けようかと思っていたけれど、「チャレンジ・スクール」という、自分と同じように退学をした経験をした人もいる高校があると知って、行ってみたいかなと思いました。それに、好きな授業を選択できるというのにも魅かれました。入試は、作文と面接のみだったので、高校受験のときに行っていた勉強会で練習して、次の年、チャレンジ・スクールに1年生から入り直しました。



チャレンジ・スクールの生活

自分は、内向的な性格だったけれど、友達ができて少しだけ直ってきました。初めて、友達と「つるむ」ようになりました。自分は、ゲームが好きなんだけれど、この学校には趣味の合う友達がいたのが、大きいです。

学校は、自由な雰囲気、授業も、家庭科系、技術系、美術系、コンピューター系とか、いわゆる勉強っぽくない授業がたくさんあります。1～2年生のうち、必修科目が多かったけれど、3～4年生になると自分で受けたい授業を選択できるから、楽しい、将来につながります。



将来はゲーム・プランナーになりたい

将来は、ゲームのプランナーになりたいと思ってます。3年生のときに、「課題研究」という美術系、技術系、家庭科系、パソコン系の中から選んで、自分の好きなことを調べるといって授業があって、それで、プログラミングのことを勉強しました。面白くて、ゲームを作るにはどういう仕事があるか調べて、夢ができました。

専門学校のオープンキャンパスに、この前初めて行って、資料請求をしました。その専門学校に行って、ゲーム・プランナーになりたいと思っています。



高校は平日に見学するのがよい

今でも、高校を決めるとき、どの学校に入ったらよかったかわからないです。でも、高校は色々見に行って、雰囲気を見たほうが良いと思います。自分は、高校見学にあまり行けなかったから、失敗したかな…。文化祭とかじゃなくて、平日に見学したほうが学校の雰囲気がわかると思います。



自分と趣味が同じ人に話しかけることで、友達ができました。
やっぱり、自分から何かするっというのが大切です。

チャレンジ・スクールについて▶▶▶p.15

中学は不登校だったけれど高校で自信がつかえました



高校生活は中学とは違う。 中学とは違う自分の 可能性を見つけて!

24歳・女性

中学生の時不登校 ▶ 都立高校(全日・工業高校) ▶ ガラス工場に就職 ▶ 転職
▶ ボールペンの部品を作る会社で働く



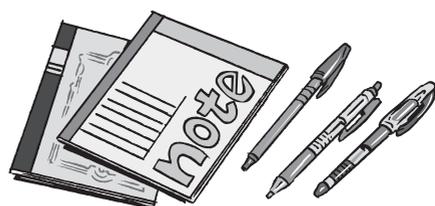
高校に行かなくても何とかかなると思ってた

中学生の時は、「何もかもどうでもいい」という気持ちで、卒業したら適当にバイトするんだろうなと思っていました。

中学にはあまり行っていなくて、学校に復帰したのは、中学3年生の時。一度休むと学校に行きにくくて…。中学の時は、あんまりしゃべらないし、意思表示をしませんでした。それでも、いつか誰かに気づいてもらえるんじゃないかと思っていました。

区役所の人に勧められて、地域の無料の勉強会に参加していましたが、それもほとんどサボっていて、全日制の高校(母校)を受けると中学の担任の先生に話したら、「どうせ落ちるんだからやめたほうがよい。」って言われました。「くやしい」と思ったけれど、けっきょく、勉強会はサボっていました。

中3の12月に勉強会のスタッフに「どうして自分のことなのにちゃんと考えないの!」と怒られて、さすがに「ヤバイ」と思い、高校に行こうと思うようになりました。



受験に合格して「自分にもやれる」と自信になった

志望校は学校案内を見て決めました。工業高校だったけれど、「化粧品を作る」「地球の環境問題を考える」と書いてあって、理科は嫌いじゃなかったし、まあ良いかなという感じで。高校は1校しか受けていません。そのせいもあって、受験はすごく緊張して、後から高校の先生に「面接のときロボットみたいだった」って笑われました。

受験して受かった時には、「自分にもやれるんだな」と自信になりました。



高校で、友達も先生も勉強もリセット

高校生活は楽しかったです。中学と違って、リセットできた感じがしました。高校の初日、「自分から友達に声かけなきゃ」と思って、自分から声をかけて、友達ができました。一緒に部活や係りをしました。先生も、中学の時は最悪だったけれど、高校の先生とは仲良くなれました。



勉強も、高校でリセットできました。小学校の時、勉強しなかったら、遅れちゃって。中学に入っても勉強がよくわからなくて、成績もオール1に近かった。でも、高校の授業は、わかるところからスタートして基礎から教えてくれます。質問も聞いてくれるから、勉強がわかるようになってきました。中学の時は分数が全然わからなくて大嫌いだったのに、高校で二次関数が楽しいと思えるまでになったんですよ。



卒業して

卒業後、高校の紹介で就職した会社を辞めて、ハローワークで今の会社を探しました。ボールペンの部品を作る会社ですが、もう2年になります。働きやすい会社です。



高校はどんなところが不安を抱くけれど、行ってみると、中学校とは違う生活です。楽しいことがたくさんあると思うので、受験をあきらめないで。高校にがんばって行って、中学とは違う自分の可能性を見つけてください。

高校に進学したことで、大学で学びたいという気持ちに



悩んだままだと、 そのままだよ。 失敗してもいいから やりたいことを!

22歳・女性 大学生

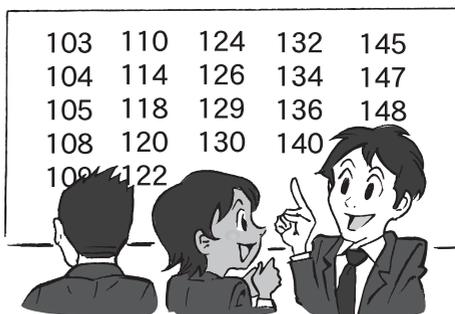
中2でフィリピンから来日 ▶ 都立高校(全日・専門学科) ▶ 就職・バイト ▶ 夜間大学



中学時代の進路選択は先生に助けられて

中学2年生で日本に来ました。学校には区の通訳さんが来てくれていましたが、日本語は日本に来てからがんばっているいろいろな教室で勉強しました。フィリピンの制度と違って、日本では中学が3年までで高校受験があるってことを知ったのも中学3年生になってからだし、親も日本の受験制度のことはあまりわからず、私もどうすればいいのか何もわからないで困っていました。

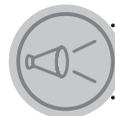
経済的な問題から私立より公立がよいと、在京外国人枠のある公立高校を受けましたが、倍率も高く、まだ日本語のテスト問題を十分に読めないくらいでしたので、合格できませんでした。そこで、担任の先生が「ここがよい」と新設の公立高校を探してくれて、とにかく受験してみたら、合格することができました。



高校にすすんだことで大学進学への思いを

高校はすごく楽しかったですね。高校でできた友だちや先生は今でも相談相手になってくれます。

もともと小さい頃は、早くお嫁さんになりたいと思っていました。でも、高校にすすんだことで、「もっと学びたい」という気持ちが高まってきました。ところが、高校3年生のときに親が離婚して母が家を出て環境が変わってしまいました。それからは父とうまくいかず、それ以前は、私の進学も「いいよ」って言っていたのに、「ダメ」って…。中学も高校も日本語で頑張ってきたのに、大学へ行けないことは悔しかったです。卒業間近に、ようやく就職を決めました。卒業後、いずれは大学に行きたいと思いながら働いていました。



電話するのに1週間迷ったけれど…

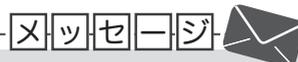
父との関係がどんどん悪くなり、母がお世話になっている福祉のケースワーカーに「家を出たい」って相談しました。ケースワーカーが教えてくれたところに思い切って電話をして、働きながら入寮できる自立援助ホームに入れました。

でも電話をするときは、知らないところだったので、「大丈夫かな」と1週間迷いました。



奨学金を借りて、働きながら大学へ通う

自立援助ホームで、働きながら大学にいけることを知りました。それからは、お金をためるために働きながら勉強し、高校を卒業してから2年経ちましたが、大学の夜間部に進学することができました。今は昼間に働き、日本学生支援機構の奨学金を借りながら、大学に通っています。



やりたいことをやればいい。失敗しても、「ああ違ったんだ」って思えばいいんだから。悩んでいるだけだとそこにとどまっちゃうので、とりあえずやってみようと思えるといいですね。

「中学のこと・定時制高校のこと」 リアルトーク!



なおみ

—高校中退したけど、定時制高校へ再入学!

ひろととこうたは中学の時の同級生。中3の時、地域の無料勉強会と一緒に参加していました。そんな2人に、高3のなおみさんが直撃インタビュー!

ひろと

定時制高校の2年生。中学の時は、勉強が苦手で、学校にあまり行ってなかった。中学でいじめにあった経験もある。



こうた

定時制高校の1年生。工業高校を1年の時に中退。翌年受験をしないおした。



—なおみ 中学校の時のことを教えてください。

ひろと 中学は、だるいし、あんまり行ってなかった。勉強嫌いだし。でも、友達から誘われた地域の無料の勉強会には行ってた。勉強会は、おかしを食べたりおしゃべりしたり、勉強も教えてもらえて楽しかった。勉強会も休んでたけど(笑)

こうた おれは、中学は行ってた。今と比べるとけんかつ早い性格だったな～。

—なおみ 高校に行こうと思ったのはいつごろ?

ひろと 中3の冬、三者面談が終わってから。きっかけは、勉強会のスタッフが「高校はみんなオトナでいじめとかもない」って話してくれたこと。それと、兄貴が中学卒業してとび職で働いていて、「働くのはつらいよ」って話してくれたことで、やっぱり高校に行った方がいいかなと思った。

こうた 中学卒業で働く、とび職みたいな高いところでの仕事か力仕事で危険な仕事ばかり。それに、バイトで一生っていうのもムリ。

ひろと 先生が「三者面談に出ないと内申書を書かない」って言ってたのに、自分、休んじゃって。で、勉強会のスタッフに、「先生に謝りに行け」って言われて、三者面談をもらった。そうしたら、先生から、「お前が行ける高校はない」って決めつけられた。それで受験する気もなくなったんだけど、親や勉強会の人に説得されて、「やっぱり高校に行きたい」と考え直した。で、先生にもう1回面談をセットしてもらって、「受験します」って言ったんだ。

—なおみ 試験はどうだった?

ひろと 都立の定時制2次試験で合格したんだけど、1次試験で受かっていないのが、学校で3人。「ヤバイ」と思った。2次試験で落ちたのは、自分だけ。さすがに落ち込んだけど、「次、次、」と気持ちをきりかえた。

こうた お前、2次落ちて、勉強会来ないで川原を一人で歩いてたよな～(笑)。

ひろと うん。でもその時、勉強会のスタッフがやって来て、「良いところあるから行けよ」って今の高校を教えてください。一緒に見学に行ったら、ちょうど陶芸の授業やってて、印象が良かった。最後は、けっこう、勉強がんばったよ。面接もなれちゃった(笑)。

—なおみ 高校の生活について教えてくれる?

ひろと 部活は軽音部。それと、2年になってから園芸部に入って部長をしてる。部活に入っていると、文化祭とかの行事が楽しい。中学は、どこかに行く時も全員そろって行くけれど、高校は、時間に遅れなければ、どう行ってもいい。自主性が大切にされていて、自由。それに、自分の学校は、勉強嫌いでも、陶芸とか園芸とかモノづくりが盛んでいるんなことを体験できる。高校は楽しいから「行っとけ!」

こうた おれは、最初、工業高校に入ったんだけど、1年生の夏ごろ、けんかですべて自主退学になった。

—なおみ 今の高校に入り直したのはどうして?

こうた 通信制に入り直した友達もいたけれど、自分には、一人で勉強するのはむずかしい。今の高校は、就職に有利ないろんな資格を取れる。それに、髪型とか洋服とか自由なところがいい。高校は、友達も先生も大人で、一生つきあっていくと思う。いじめもないし、中学の時、いじめられてた人も卑屈にならないでいい。物を壊す人もいないし(笑)。相手のことを気づかいあえるけれど、素も出せる。

—なおみ アルバイトはしてる?

ひろと うん。うちの学校は1年生の夏休み前に、希望者にバイトを紹介してくれる。ハローワークに先生と一緒に来てくれて、ハローワークの担当の人が決まって、いろいろ相談にのってくれる。今、それで見つけたスーパーで、品出しときゅうりを袋に入れてたりする加工のバイトをしてる。学校が夕方5時45分から夜9時までで、部活が夜10時までだから、バイトを朝8時から12時までして、少し寝てから学校に行ってる。

こうた おれは、まだ1年だから、これからする。バイトすれば、家にお金を入れられるし。

—なおみ 将来の夢を教えてください。

ひろと 園芸関係に進みたい。中学生の時に職場体験があって、造園業に行ったら楽しかったから。で、園芸部も入ったんだ。

こうた おれは、資格とって、物づくり系に進みたい。小さい妹がいるし、家でもごはん作ったりしてるから、調理師免許もいいな。

—なおみ 後輩へのメッセージをお願いします。

ひろと 遅れはとりもどせる! おれは中3の時ほぼオール1だったけど、最後がんばって、高校に行けた!

こうた どうせ一生働くんだから、今は高校へ行って、もう少し自由を楽しんでもいいんじゃない。

行きたい学校を見つけよう!

さまざまな特徴をもった高校があります。あなたが行きたい学校を見つけてください。くわしいことは、学校見学や説明会のときに教えてくれます。

全日制高校

普通科(普通高校)

専門学科(専門高校/職業高校)

- 農業 ■ 工業 ■ 科学技術 ■ 商業 ■ 家庭 ■ 福祉 ■ 体育
- ビジネスコミュニケーション ■ 国際 ■ 産業 など

総合学科(総合高校)

高等専門学校

5年制 ※大学3年生に編入も可能です。

定時制高校

普通科・専門学科(農業・工業・科学技術・商業など)

4年制 ※一部、3年間で卒業できる学校もあります。

- ・4時間授業で、授業時間帯は夜間・昼間・午前中とさまざま。



江戸川高校は、あなたの気持ちを応援します。ゆっくり勉強にとりくんだり、色々な部活に参加したり、文化祭などのイベントに参加したり、友達とおしゃべりしたり…。悩みがある人も、色々な経験を通じて自信がつかます。

学校に入学すれば、あなたの席はあなただけのものです。あなたの席が4年間で大切な居場所になることを願います。 ■江戸川高校定時制(学年制)教師

通信制高校

(普通科)

自宅学習 + レポート + 仲間づくりもできるスクーリング

等による教育。自宅等で自学自習をしたい人に向いています。

通信制課程を受けている生徒を対象にして学習に対する支援を行う**サポート校**があります。

※この他にも、専修学校(高等課程)があります。

- 専修学校(高等課程)** 通信制高校と技能連携し、高卒資格が取得できます。1年制、2年制、3年制等。

さまざまな進級・学習の制度

単位制

- 全日制高校と定時制高校にあります。
- 学年の区別がありません。
(進学重視の全日制課程では学年制に近い学校もあります。)
- 3年間(または4年間)で必要な単位数をとれば卒業できます。



自分の学習計画、自分の興味、関心等に応じた科目を選択し、自分のペースで学習に取り組むことができます。生徒一人ひとりが自分だけの時間割を作ります。授業の行われる教室に移動して、入学年次の異なる生徒と一緒に授業を受けます。主に授業や行事・クラブ活動・生徒会活動などを通して友人を作ります。目標が明確にある人や中学・高校で思い通りに行かなかった人にはぜひお勧めします。自分で自分の高校生活を上げることができるからです。

■新宿山吹高校(単位制高校)元教師

~特色のある都立高校エンカレッジ・スクール、チャレンジ・スクールって?~

エンカレッジ・スクール(全日制)

- 学力検査(テスト)によらない入学者選抜
- 「2人担任できめ細かな指導」「30分授業」などの工夫があります。

チャレンジ・スクール

- 不登校や高校を中退した経験などがある人も受け入れています。
- 学力検査(テスト)によらない入学者選抜
- 幅広い選択科目による教育課程
- 昼夜間定時制・単位制・総合学科の学校

チャレンジ・スクールに通った先輩の体験談▶▶p.6



高校進学についての相談窓口▶▶p.17

高校に行きたいを応援する制度

電話であなたの話を聞いてくれる窓口



高校進学のことではなくても、あなたが悩んでいること、質問したいと思っていること、困っていることなど、電話であなたの話を聞いてくれるところを紹介しています。

チャイルドライン

18歳までの子ども専用電話です。各地域にあります。全国どこからでもかけられるフリーダイヤルの電話があります。

☎ **0120-99-7777** 月～土 16:00～21:00

うれしいこと、楽しいこと、悲しいこと、さみしいこと、どんなことでも。

話してみなよ -東京子供ネット-

子ども専用電話です。フリーダイヤルの電話があります。

☎ **0120-874-374** 月～金 9:00～20:30

土日祝 9:00～17:00

いじめなどで悩んでいるときも話してください。



4152(よいこに)電話相談：東京都児童相談センター

保護者からの子どもの養育、しつけ、発達などの相談にも応じています。

☎ **03-3202-4152** 月～金 9:00～20:30

土日祝 9:00～17:00

子どもの人権110番：東京弁護士会

いじめや不登校など子どもの人権に関すること。

☎ **03-3503-0110** 月～金 13:30～16:30 17:00～20:00

土 13:00～16:00

子どもの悩みごと相談：第二東京弁護士会

子どもからも、おとなからも相談に応じています。

☎ **03-3581-1885** 火木金 15:00～17:00

子どもの人権110番：法務省

いじめや不登校などについて。おとなも利用可能。フリーダイヤルです。

☎ **0120-007-110** 月～金 8:30～17:15

高校進学相談窓口



高校進学についての相談窓口やホームページを紹介しています。
p.14もご覧ください

都立高校への入学については

東京都教育相談センター：高校進級・進路・入学相談

☎ **03-5800-4175**

都立高校の入試については

都立高校入試相談コーナー 都庁第2本庁舎内 ☎ **03-5320-6755**

高校の一覧を入手したいとき、詳しく知りたいときは

《都立高校(全日制、定時制、通信制)》

東京都教育委員会のホームページの「都立高校検索サイト」

東京都教育庁都立学校教育部高等学校教育課 ☎ **03-5320-6743**

《都内の私立高校》

一般財団法人東京私立中学高等学校協会

☎ **03-3263-0541**

「東京私学ドットコム」 ■ <http://www.tokyoshigaku.com>

《都内の専修学校》

東京都専修学校各種学校協会

☎ **03-3378-9601**

《都内の高等専門学校》

都内には3校あります。

○東京工業高等専門学校(国立：所在地は八王子市)

○東京都立産業技術高等専門学校(都立：所在地は品川区と荒川区)

○サレジオ工業高等専門学校(私立：所在地は町田市)

《都内のサポート校》

通信制サポート校・東京ネットワーク

■ <http://www.tokyosnet.com/>

《都立特別支援学校高等部》

東京都特別支援教育推進室 教育庁神楽坂庁舎内 ☎ **03-5228-3433**

中学生とその保護者の方へ 奨学金や教育費の助成のご紹介

学費のことで、高校進学をあきらめるのは、もったいない！ ここからは、東京都内に住む人を対象とした奨学金・貸付金や教育費の助成についてご紹介いたします。

まずは、1年間にかかる教育費のおおよその平均を試算してみましょう。



平成22年度から、公立高校の授業料が無償化になるとともに、私立高校の授業料については「高等学校等就学支援金」が学校に支払われ、家庭の教育費の負担が軽減されることになりました。

公立	
入学金	5,650円(全日制の場合)
授業料	不徴収
授業料以外の学校納付金 (PTA会費など)	4万3千円
修学旅行・遠足・見学費、 図書(教科書など)・学用品	6万9千円
制服・通学費	7万4千円
教科外活動費 (クラブ活動などの費用)他	4万2千円
おおよその総額	23万4千円

平成22年度文部科学省「子どもの学習費調査」より

私立	
入学金	24万8千円*
授業料	42万4千円*
授業料以外の学校納付金 (設備費など)	20万5千円*
修学旅行・遠足・見学費、 図書(教科書など)・学用品	9万1千円
制服・通学費	10万5千円
教科外活動費 (クラブ活動などの費用)	4万3千円
総計	111万6千円
こんなにかかっていたですが… *就学支援金により保護者負担が減ります。▼	
就学支援金	▲11万8千～23万7千円 (所得による)
おおよその総額	約99万8千～87万9千円

*東京都生活文化局「23年度 東京都の私学行政」より月額平均を試算
上記以外 平成22年度文部科学省「子どもの学習費調査」より

学費の調達が難しい時は、奨学金・貸付金や教育費の助成を利用する方法があります。

ここで紹介する 奨学金・貸付金や教育費の助成の種類

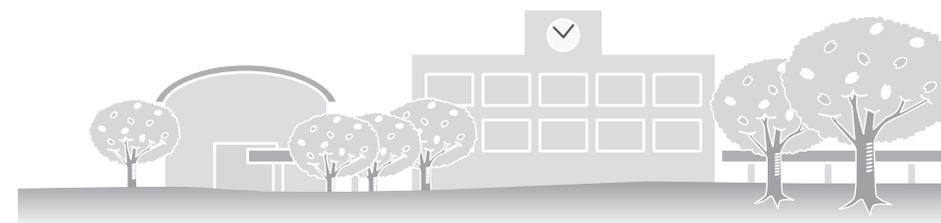
■ 将来、借りた費用を返す [奨学金(貸与型)・貸付金]

A 奨学金(貸与)・貸付金	低所得世帯のお子さんを対象とする 東京都育英資金 生活福祉資金	B 私立高校向け	さらに 私立高校向けにはこんな制度もあります。 入学支度金貸付制度
	ひとり親家庭のお子さんを対象とする 母子福祉資金		C 受験生
	遺児家庭のお子さんを対象とする あしなが奨学金 交通遺児育英会奨学金		

■ 返す必要がない [助成制度]

D 私立高校向け 授業料軽減助成金

※利用にあたって、保護者の収入・所得の要件など様々な条件があります。
※この他、各自自治体が類似の制度を行っている場合がありますので、お住まいの役所へご確認ください。



それぞれの詳細は次のページに ▶▶▶

高校へ行くための奨学金・貸付金・助成金の制度一覧

*このほかに各自治体が類似の制度を行っている場合がありますので、役所へご確認ください。
 *高校が独自に類似の制度を行っている場合がありますので、各学校へお問合せください。
 *平成24年4月現在の情報をもとに作成しています。
 *奨学金・貸付金・助成金制度は利用にあたってさまざまな要件があります。詳細は、各制度の相談・申込窓口へお問合せ・ご相談のうえ、申込みをご検討ください。

相談・申込窓口	東京都育英資金	母子福祉資金	生活福祉資金	あしなが奨学金	交通遺児育英会奨学金
	在学する学校または 東京都私学財団 ☎03-5206-7929	お住まいの区役所、 市役所・支庁の担当窓口、 西多摩福祉事務所	(教育支援資金) お住まいの 区市町村社会福祉協議会	あしなが育英会 ☎0120-77-8565または ☎03-3221-0888	交通遺児育英会 ☎03-3556-0773
貸付対象者	子ども(学校に通う本人) 子どもとその保護者が都内在住。 ・高等学校、高等専門学校・専修学校(高等課程)中等教育学校後期課程・特別支援学校の高等部に在学している人 ・高等専門学校は都内の学校に限る ・予約申込できるのは、高等学校または専修学校高等課程へ進学を希望する人(高等専門学校は対象外)	都内に6ヶ月以上 お住まいの 母子家庭の母	子ども(学校に通う本人) 学校教育法に規定する高校等に入学する際に必要な入学金や授業料などに必要な費用	遺児家庭の子ども 保護者等が病気や災害(道路における交通事故を除く)もしくは自死(自殺)などで死亡したり、それらが原因で著しい後遺障害を負っている家庭の子ども	遺児家庭の子ども 保護者等が道路における交通事故で死亡したり、著しい後遺障害のため働けなくなった家庭の子ども
入学支度金		就学支度資金 国公立 16万円以内 私立 42万円以内	就学支度費 50万円以内	私立高校入学一時金 30万円	20万円、40万円または60万円の中から出願者が選択
授業料(月額)	国公立 1万8千円 私立 3万5千円	修学資金(自宅通学の場合) 国公立 1万8千円以内 私立 3万円以内	教育支援費 3万5千円以内	国公立 2万5千円 私立 3万円	2万円、3万円、4万円の中から選択
連帯保証人の有無	2人必要 申込時第一連帯保証人要(原則、父または母) 貸付終了時、別生計の第二連帯保証人要	1人必要 (母の収入等による) 子どもが連帯借受人になることが必要	原則不要 ただし、世帯の生計中心者が連帯借受人になることが必要	要(保護者可)	要(保護者可)
貸付利率	無利子	無利子	無利子	無利子	無利子
手続きの仕方	学校や各団体へ連絡し相談のうえ、所定の様式を学校もしくは団体から取り寄せしてください。申請書類に必要事項を記入し、それぞれの団体が求める必要書類をそろえて提出します。 【中3の時の予約申込*】 5月下旬～9月初旬の各学校が定めるメットまでに学校長を通じて申込。 【高校進学後の申込】 高校進学後、学校長を通じて申込	随時 ただし、審査及び交付までには時間がかかるため、余裕をもってご相談ください。	随時 ただし、審査及び交付までには時間がかかるため、余裕をもってご相談ください。	【中3の時の予約申込*】 第一次 7月末メット 第二次 12月15日メット 【高校進学後の申込】 高校進学後、学校長を通じてもしくは直接申込	【中3の時の予約申込*】 第一次 9月末メット 第二次 2月末メット 【高校進学後の申込】 高校進学後、学校長を通じてもしくは直接申込
備考 併用(他制度の同時利用などについて)	併用不可 (ただし、返済不要の奨学金や保護者が借り受けるもの、東京都私学財団が行う私立高校入学支度金貸付は併用可です)	他の貸付金が母子福祉資金と併用不可でない場合は、差額分を限度に貸付可	①他制度優先 (東京都育英資金や母子福祉資金の利用が優先です) ・東京都育英資金や自治体が行う公的な無利子の貸付金を併せて借りることはできません。	併用可	併用可

*予約申込とは中3時に申込ができる制度です。志望校が決まっていなくても申込可能です。
 予約申込に間に合わなかった方は、高校進学後、高校へ申込みとなります。

私立 入学支度金貸付制度

一律20万円 無利子
在学中返済 連帯保証人必要

入学先の学校により、本制度を利用できる場合があります。制度の有無、お申込方法については直接入学予定の学校へお問合せください。

都内にある私立の高校・高等専門学校・専修学校高等課程三年制・中等教育学校後期課程・特別支援学校の高等部で貸付制度のある学校の入学者の保護者(都内在住)が対象。

問合せ 入学先の学校又は
東京都私学財団 03-5206-7926

私立 授業料軽減助成金

収入要件有 給付(貸付ではありません)

世帯の収入状況により
 年102,100円～187,400円*を助成
 他の貸付金との併用可

東京都や他県の私立の高校(全日制・定時制)・高等専門学校(1年～3年)・専修学校高等課程・中等教育学校後期課程・特別支援学校高等部に在学する生徒(都内在住)の保護者(都内在住)の方が対象。

高校進学後の申込

問合せ
東京都私学財団 03-5206-7925

*助成金額については、今後変更することがあります。

学習塾等の費用や高校受験の費用の貸付もあります!
受験生チャレンジ支援貸付金

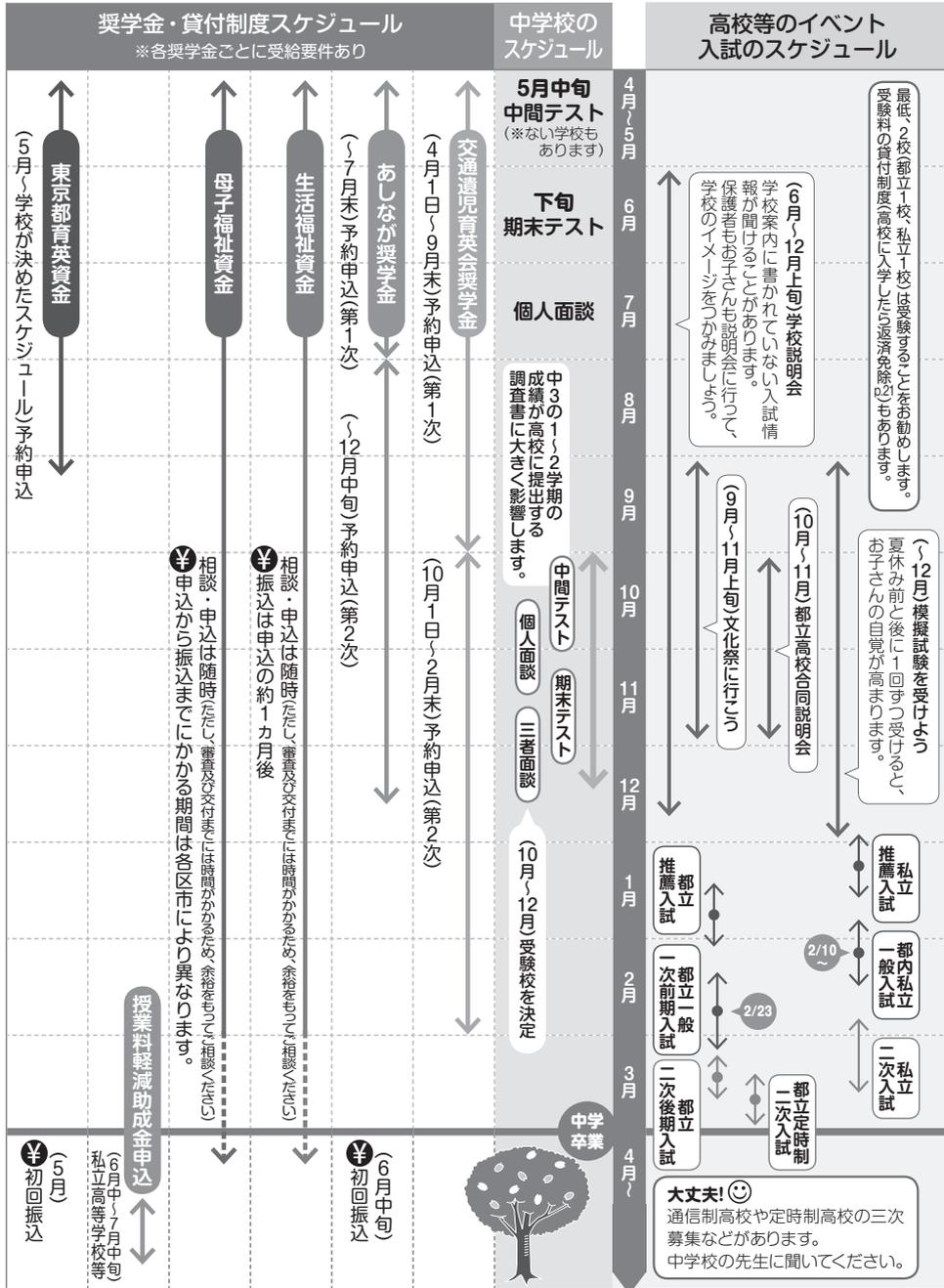
収入要件有 連帯保証人必要
貸付限度額 塾等の費用…20万円
 受験料…27,400円

■貸付対象となる塾等や学校の要件有
 東京都の事業です。貸付対象となる学校へ入学した場合、申請により返済が免除されます。

問合せ お住まいの区市町村へ

高校進学に向けたおおまかなスケジュール例

* 例示ですので、詳細は各学校・申込先へご確認ください。
* 平成24年度の入試スケジュール例です。



社会福祉法人 東京都社会福祉協議会 (高校進学のための情報支援構築プロジェクト)

赤い羽根共同募金により作成しています。